

17	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102017	次世代3軸精密ステージ用のサーフェスエンコーダの開発	清野 慧(東北大学・大学院工学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>二次元正弦波格子と二次元角度センサを組み合わせた独創的なサーフェスエンコーダを開発し、実際に製作している点は高く評価できる。</p> <p>従来このようなセンサはほとんど実用されておらず、今後産業界での幅広い応用が期待される。大学の研究でありながら、産業応用を視座に入れた特徴的な研究といえる。</p> <p>今後、分解能2nmに対するノイズレベルに関して限界を明らかにし、本装置の特性を明確にすることが求められよう。</p>				
18	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102018	分散ネットワーク構造を有する超高速認識行動システム	石川 正俊(東京大学・大学院情報理工学系研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>1msのサンプリング間隔で画像を取り込む高速ビジョンチップを核として、分散ネットワークと高速処理を用いて、超高速の行動認識システムを開発しており、ほぼ当初の目的を達成していると高く評価できる。</p> <p>ただし、既存の研究との相違が必ずしも明確でないという指摘もある。開発したシステムは学術的な価値のみならず、産業界をはじめ多くの分野で応用可能と考えられ、今後、技術の普及や新たな応用の開拓などを期待したい。</p>				